

「凍結による給湯器破損予防のお願い」

凍結により、機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料修理になります。

気温が凍結する温度に近くなると、給湯機器は凍結予防ヒーターや循環ポンプの作動などで自動的に凍結予防運転を行うため、電源プラグは絶対に抜かないでください。

【凍結予防】

- 給湯器の電源プラグは抜かないでください。
- 給湯栓（お湯の蛇口）を開けたままにして少量の水を流す。
 - （1）運転スイッチ（リモコン）を<切>にする。
 - （2）ガス栓を閉める。
 - （3）ふろ等の給湯栓を開いて、少量の水（1分間に約400CC・太さ約4mm）を流したままにする。
- 追い焚き付き給湯器の場合。

浴槽の水を循環アダプター上部より5cm以上溜めておいてください。

【凍結してしまったら】

- 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。
- すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください。
 1. 運転スイッチ（リモコン）を「切」にし、台所などの給湯栓を少し開けておく。
 2. ガス栓を閉める。

■給水元栓が凍結して回らない場合

- 〈1〉 タオルを給水元栓のまわりに巻く
- 〈2〉 人肌程度（30～40℃）のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。

※機器の電源コード・プラグ・コンセントにお湯がかからないように注意してください。

※ガス栓とまちがえないように注意してください。
- 〈3〉 給水元栓が回る（水が流れる音がする）ようになったら、
 1. で開けておいた家の中の給湯栓を閉める。
- 〈4〉 タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布で拭き取る。

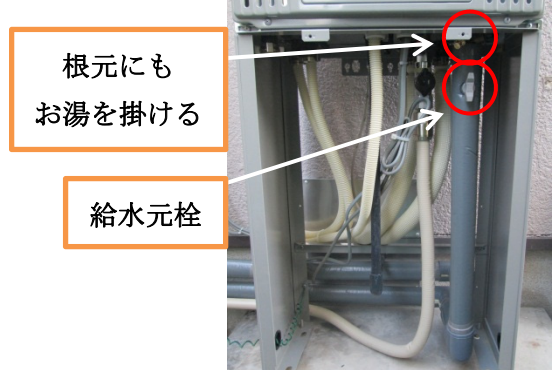
※保温材や配管に水がついて残ると、その水が原因で後に再び凍結する恐れがあります。

■給水元栓が回るのに水が出ない場合

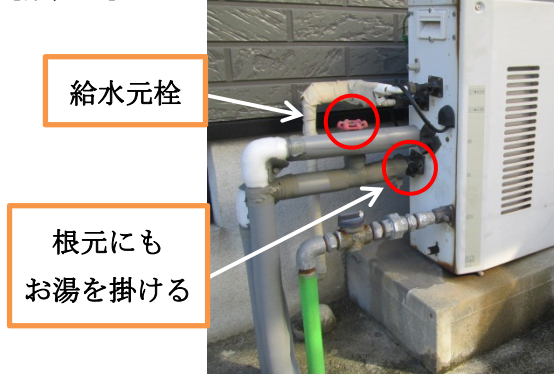
給水元栓以外が凍結しているため、給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

《ここにお湯をかけてください。》

[壁掛型]



[据置型]



お問い合わせは



筑紫ガス ☎092-923-3111
CHIKUSHI GAS